

## IP 盗難

- IP 盗難の概要 (1 ページ)
- IP 盗難の設定 (2 ページ)
- IP 盗難除外タイマーの設定 (2ページ)
- 有線ホストの静的エントリの追加 (3ページ)
- IP 盗難設定の確認 (3ページ)

## IP 盗難の概要

IP 盗難機能は、すでに別のデバイスに割り当てられている IP アドレスが使用されないようにします。2つのワイヤレスクライアントが同じ IP アドレスを使用していることがコントローラによって検出された場合、コントローラは、優先順位が低い方のクライアントを IP 盗難者であると宣言し、他方のクライアントが継続できるようにします。ブラックリストが有効になっている場合は、そのクライアントが除外リストに登録され、追放されます。

コントローラでは、IP 盗難機能がデフォルトで有効になっています。クライアント(データベース内の新規および既存のクライアント)の優先順位レベルも IP 盗難の報告に使用されます。優先順位レベルは、Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)、Address Resolution Protocol(ARP)、データ収集(クライアントがどの IP アドレスを使用しているかを示す IP データパケットを調べる)などの学習タイプまたは学習ソースです。有線クライアントは、常に他よりも高い優先順位レベルになります。ワイヤレスクライアントが有線 IP の盗難を試みると、そのクライアントは盗難者であると宣言されます。

IPv4 クライアントの優先順位は次のとおりです。

- 1. DHCPv4
- **2.** ARP
- 3. データパケット

IPv6 クライアントの優先順位は次のとおりです。

- 1. DHCPv6
- 2. NDP

3. データパケット



(注)

静的な有線クライアントは、DHCPよりも優先順位が高くなります。

# IP 盗難の設定

IP 盗難機能を設定するには、次の手順に従います。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ <b>1</b>	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
	例:	モードを開始します。
	Device# configure terminal	
ステップ2	wireless wps client-exclusion ip-theft	クライアント除外ポリシーを設定しま
	例:	す。
	Device(config)# wireless wps client-exclusion ip-theft	

# IP 盗難除外タイマーの設定

IP 盗難除外タイマーを設定するには、次の手順に従います。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	wireless profile policy profile-policy 例: Device(config)# wireless profile policy default-policy-profile	WLAN ポリシー プロファイルを設定 し、ワイヤレス ポリシー コンフィギュ レーション モードを開始します。
ステップ3	exclusionlist timeout time-in-seconds 例: Device(config-wireless-policy)# exclusionlist timeout 5	タイムアウトを秒単位で指定します。有 効な範囲は0~2147483647です。タイ ムアウトなしの場合は0を入力します。

# 有線ホストの静的エントリの追加

静的な有線バインディングを作成するには、次の手順に従います。



(注)

静的な有線バインディングとローカルに設定された SVIIP アドレスは、DHCP よりも優先順位が高くなります。

### 手順

	18 - 1 11 - 1 2	- "
	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	1番目のオプションを使用して IPv4 ス タティックエントリを設定するか、2番 目のオプションを使用して IPv6 スタ ティック エントリを作成します。	IPv4 または IPv6 スタティック エントリを設定します。
	<ul> <li>device-tracking binding vlan vlan-id ipv4-address interface gigabitEthernetge-intf-num hardware-or-mac-address</li> <li>device-tracking binding vlan vlan-id ipv6-address interface gigabitEthernetge-intf-num hardware-or-mac-address</li> </ul>	
	例: Device(config) # device-tracking binding vlan 20 20.20.20.5 interface gigabitEthernet 1 0000.1111.2222 例: Device(config) # device-tracking binding vlan 20 2200:20:20::6 interface gigabitEthernet 1 0000.444.3333	

# IP 盗難設定の確認

IP 盗難機能が有効になっているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。

Device# show wireless wps summary

Client Exclusion Policy

Excessive 802.11-association failures: Enabled Excessive 802.11-authentication failures: Enabled Excessive 802.1x-authentication: Enabled IP-theft: Enabled Excessive Web authentication failure: Enabled Cids Shun failure: Enabled Misconfiguration failure: Enabled Failed Qos Policy: Enabled Failed Epm: Enabled Enabled

IP 盗難機能に関するその他の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# show wireless client summary

#### Number of Local Clients: 1

MAC Address	AP Name	WLAN	State	Protocol	Method	Role
000b.bbb1.0001	SimAP-1	2	Run	11a	None	Local

Number of Excluded Clients: 1

MAC Address	AP Name	WLAN	State	Protocol	Method
10da /320 cce9	charlie?	2	Fycluded	1120	None

#### Device# show wireless device-tracking database ip

IP	VLAN	STATE	DISCOVERY	MAC
20.20.20.2	20	Reachable	Local	001e.14cc.cbff
20.20.20.6	20	Reachable	IPv4 DHCP	000b.bbb1.0001

#### Device# show wireless exclusionlist

Excluded Clients

MAC Address	Description	Exclusion Reason	Time Remaining
10da.4320.cce9		IP address theft	59

### Device# show wireless exclusionlist client mac 12da.4820.cce9 detail

Client State : Excluded

Client MAC Address: 12da.4820.cce9 Client IPv4 Address: 20.20.20.6 Client IPv6 Address: N/A

Client Username: N/A

Exclusion Reason : IP address theft

Authentication Method : None Protocol: 802.11ac

AP MAC Address : 58ac.780e.08f0

AP Name: charlie2
AP slot : 1

Wireless LAN Id : 2

Wireless LAN Name: mhe-ewlc

VLAN Id : 20

IP 盗難設定の確認